

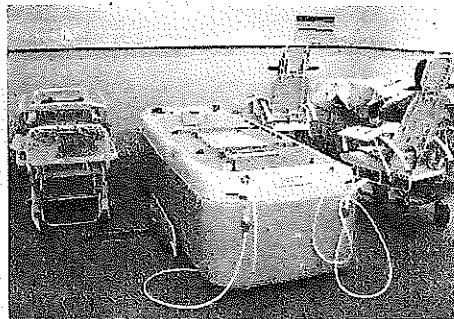
福祉のかけ橋

平成16年4月号

第33号



マーシ園療護施設
完成オープン



平素皆様方には、マーシ園の運営につきまして何かと多大のご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。心より厚く感謝申し上げます。

さて、予てより検討してまいりました「マーシ園療護施設等整備工事」が、国や県、福祉広域圏二市十町村の事業採択を頂き、今年三月完成、四月一日オープンしました。

砺波平野を一望する高台に緑と光を取り込んだ「療護ホーム」は、長期入所三十名、短期入所三名のほか、県内初のALS患者二名の入所定員で、デイサービスセンターは一日あたり一五名に対応可能な施設です。

社会福祉法人マーシ園 理事長 箭原健二郎

地域交流スペースは、障害の有無を問わず、誰もが気軽に立ち寄り自由な時間が過ごせる空間で、さまざまな活動や交流の場として、また、ボランティアの育成や地域活動、研修等にも利用できます。障害者IT推進事業として、パソコンも整備し、パソコン教室の開催にも対応しております。また、在宅の障害者に対して、在宅福祉サービスの利用援助、カウンセリング、介護相談及び情報の提供など障害者やその家族の生活支援も行っております。

今回整備しました「療護施設」と既存の「授産施設」を併せますと、両砺波地区身体障害者の総合的な福祉施設となりその新たな一歩を踏み出すこととなりました。

私達は、これからも「地域社会に愛され信頼されるマーシ園」を目指して頑張りますので、どうか皆様、一層のご愛顧、ご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

在宅介護者 リフレクシブ研修会

実施

三月七日、木彫りの里創造館に於いて、家庭で寝たきりの方や、痴呆性の老人などの在宅介護に当たっておられる方々をお招きし、日頃の悩みや体験を話し合うと共に、介護の方法や支援サービス等について、学習する研修会を実施しました。



学習一 ビデオ聴講

（砺波ライブラリー借用）

演題「介護の実際について」

実際在宅介護なさっている方の体験、特に重度の方の介護の方法について、聴講しました。

学習二 指導

「満足のできる介護」

講師 特別養護老人ホームいなみ

主任看護師 川上裕子氏

最初に特養いなみの介護の実際について、簡単に説明のあと、介護のポイントについて

一、介護者自身の健康が大切

家族とよく相談し、協力しても

らって、睡眠、休養は充分とる
二、病人自身のしつけ
本人によく納得させ、残存機能を生かす等、介護に協力させる

三、健康保持の的確な対応

イ 部屋は暖かくして、カゼの予防に努める

ロ 水分の十分な供給

ハ 便秘は大敵である

ニ 食事は腹八分

等について話され、常に主治医の指示を仰いで対処する。

介護は、長期になりますので、する者も、される者も、ユーモアで会話が何より大切である。

最後に、日頃の苦労話を話しあい、有意義な研修会になりました。

武田記

三二託老所世話方研修会

第1回 会食交流会

一月十七日富山の冬には珍しく、朝は底冷えで大変寒い朝でした。でも、日中は晴れ渡り素晴らしい天気になりました。

当地区社協主催の三二託老所研修会に参加して、食改グループの皆さん、そして老人クラブ女性部の皆さんが手料理を作り、地区の一人暮らし老人、高齢者世帯の皆様と一緒に和気藹々でお話をしながら楽しい会食のひとつときでした。

昼食の後は、ボランティア指導によるゲームで、皆様と共に楽しく時間の経つのも忘れ愉快なひとときを過ごすことができました。

足場の悪いこの時期に民生委員の方の送迎で参加された高齢者の皆さんと共に、私自身もこの場に出

席させていただき、地域の皆さんとの交流を深めることができました。

これからも、

高齢者の皆さんが一人でも多く参加されますとともに、一日一日を大切に、そしてお元気で過ごしになることを心より念じて

おります。

武田幸子記



第2回 会食交流会

ボランティア

知る葉グループ 須川ユキエ

二月七日、お元気な高齢者の皆さんと、ニコニコ顔合せ、お部屋の明るさ賑やかです。ボランティアアグループのご協力で美味しい匂いの昼食でおなか満腹、ビールもジュースもすいすい、話しもご馳走、笑い転げる大きな声、楽しい盛り上がりが愉快でした。

おなか一ぱいだから少しゲームしましょうねと、新聞紙で地面取りジャンケン、負けると新聞紙半分にたたく、また負けたら半分と、面白く遊び笑いが止まらない。次に十五夜さんの餅つきを二人向い合せで、杵つきと手がえしの動きを、オッコネタ、トツツイタの歌に合わせて行いました。

二人の意気が合うように頑張ってもらい、上手に出来たので、おいしく食べてねと、笹餅を手渡しました。

賑やかな遊びもいくつか参考にして頂ければボランティアの私達嬉しいですよ。お年寄りとの楽しいふれあい会食交流会、長く続けて行きたいものです。



施設・歳末見舞い



年の瀬の十二月十八日(木)午後三時二十分より、武田清信地区社協会長と崑和子児童民生委員との三人で、南山見保育所・マーシ園へ施設見舞いに恒例により訪問をし、心ばかりの品を贈りました。

保育所では退所時間に近いので、皆帰り準備をした可愛い園児達の出迎えをうけて武田会長が訪問の挨拶をして、崑児童民生委員と二人で年長組の皆さんに渡されました。

武田静子保育所長、児童達みんなの「アリガトウゴザイマシタ」のお礼をうけて後にしました。引き続きマーシ園を訪問し、園代表の人の出迎えをうけて、武田・崑両氏の手からお渡しし「有難う」の言葉をいただき、澤田清三園長より改めてお礼の挨拶を受けて、地区内の二施設を駆け足で訪問を終えました。

事務局

平成15年度 南山見地区社協事業経過 (平15.12初~16.3末)

年月日	実施事業	場所
H15. 12. 4	理事 監事合同役員会 (当面の事業活動計画について)	南山見公民館
12. 20	歳末施設見舞い (マーシ園・南山見保育所)	地区内
12. 下	歳末見舞い	
16. 1. 1	広報「福祉のかけ橋」第33号発行	
1. 15	配食サービス (一人暮らし老人 担当民生委員)	地区内
1. 17	ミニ託老所世話方研修会：第一回会食交流会	南山見公民館
2. 7	第二回会食交流会 (ボランティア対応)	南山見公民館
2. 15	三世帯交流の集いに参加	南山見公民館
2. 24	配食サービス (一人暮らし老人 担当民生委員)	地区内
3. 7	在宅介護者リフレッシュ研修会	木彫りの里
3. 25	「ふれあいコミュニティ、ケアネット21」シンポジウムに参加 (林理事出席)	県総合福祉会館



宮川さえこ記

歳末見舞いをふいかえって

長かった冬も終わり、風薫る気持の良い季節となりました。私はこの何年来、ボランティアグループの一員として名前だけのお世話をしています。

その中に地区のお年寄りの方々に歳末見舞品を届けると言うのがあります。

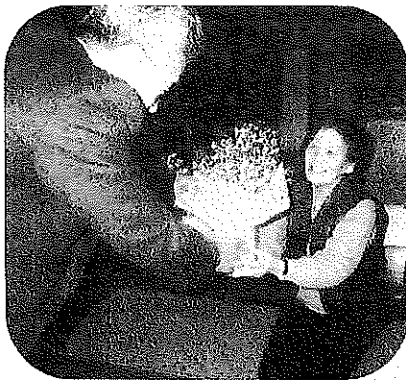
暮れ方ギリギリに品物がくるので、気持はどうしても早く届けなければとあせる気持が先にたちますが、お年寄りは、皆さん笑顔で「あらー有難う。もったいない」と喜んで下さいます。その笑顔に、私の方が励まされ「これからもお元気で」という願いを胸に、各戸のお宅を後にしました。

一人暮らし高齢者に花鉢贈る



今年も三月二十一日(日)に一人暮らし高齢者宅を訪問して鉢花を届けた。武田会長より十人の方々に「元気でですか。大事に育ててくださいね。」とキヤッテール(花名)を手渡すと笑顔で受け取っておられた。畑で仕事の方、自宅で休養の方、洗濯されている方など元気で暮らされていますが、近くを通った時は、「お元気でですか」と声をかけ、励ましあつて行きたいと思いました。

須川義孝記



縦書きの装飾線

第15回南山見地区 三世代交流の集い



懐かしい昔の遊び道具を、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、友達皆と一緒に作りませんか？ で始まった第十五回三世代交流の集い。

縄縫いでは、おじいちゃんに手ほどきを受けながら、小さな手を真剣に擦り合せていました。また、竹細工では、凧・竹とんぼ・紙鉄砲を作り、教えてくれるお父さんの方が真剣……女の子たちは、おばあちゃんたちとお手玉作り、遊び歌と、昼食の大巻き寿司作りに挑戦していました。

今ではなかなか見ることの出来ない石臼できな粉を作り、つきたてのお餅にまぶして皆で美味しくいただきました。

一つ一つ手をかけて作ることの面白さや大切さを、三世代が同じ時間に感じあえた一日だったので、は？

青少年育成町民会議 松井三良記

編集後記



青葉若葉の季節が訪れ、冬眠していた蛙達も早朝一斉に起き出し、ギョオギョオと挨拶をしています。そっと聞いてみると蛙の井戸端会議のようで、イラクで囚われの身となった日本人が無事解放されたニュースの話らしい。

戦争は終結したようだが、治安状態が極度に悪化している国へ、しかも「退避勧告」が出されているのに何故出向いたのか。大変危険な状態を知りながら出向いた場合の自己責任はどうなるのか。解放に要した費用は誰が払うのか。こんな危険な国への出入国は制限すべきではないだろうか。……と議論百出。

皆さんどう思われますか。蛙の合唱

号数	第三三三号
発行	平成十六年四月
所在	富山県井波町川原崎 南山見公民館内
発行者	南山見地区社協

◎ 読んだら綴りましょう